

丹波市生涯学習基本計画後期計画素案に関する市民意見とそれに対する市の考え方（案）

No.	頁	項目	意見概要	市の考え方（案）	修正有無
1	20	3. めざす市民像・めざすまちの姿	めざす市民像に関して、 ・「人と人のつながりを大切にしながら」 ⇒相手の価値観を認め、つながりを大切にし、 ・「丹波をより良いまちに」 ⇒丹波を持続可能で豊かなまちに 重要視すべきは、多様性と持続可能性を重んじることである。それらの文言を「めざす市民像」に入れて、はっきり明確に提示する必要があると思う。	互いの価値観を認め、つながりを大切にすること、持続可能なまちづくりをめざすことは、後期計画において必須事項と考えます。ご意見を参考に審議会で協議いたします。	修正あり
2	-	全体	持続可能な開発目標（SDGs）に向けて、市民が積極的に取り組むために、市も支援する必要がある。また、その視点を計画の中に明文化すべきではないかと思う。それによって、持続可能性が市民にとってよりわかりやすく理解されるのではないかと思う。	「めざすまちの姿」において「地域が活力を維持し」としていることや、「持続可能なまちづくり」のためには学んだ成果を生かしていくことが必要であるとしています。これらのことは、SDGsの視点を踏まえていると考え、修正いたしません。	修正なし
1	-	全体	この基本計画について特別意見等はありませんが、分かり易い情報の伝達はとても大切だと思うので、「伝えたい人に伝わる工夫」をお願いしたいと思います。 この先、日本の教育もIQ重視からHQ（人間性）重視と変わりゆく話も聞いています。これからの子どもたちに求められる新しい価値を創造する力であったり、みんなで協力して開発するような力を学校だけでなく、地域も一緒になって育てていくことが大切だと思います。愛知県の方では、「誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校」という市民参加型の取り組みをされているように聞きます。ただ、真似るのではなく、丹波市にあった取り組みを考えて行くべきだと思います。	様々な情報を分かり易く、多くの人に伝達できるよう工夫していきます。 後期計画（案）のP28の課題（1）「学びで地域の魅力を見つける」ための具体的施策①「自然や歴史、伝統文化を活用した学びの機会の提供」や②の「地域の魅力発掘と新しい学びの創出」をすすめていき、地域が中心となってこれからの子どもたちを育てていけるよう取り組んでいきます。	修正なし
2	-	全体	シニア世代においては、リタイア後の自分探しで何かに取り組む気持ち・意欲が強くて、生涯学習に対するチャレンジャー精神の旺盛さをアンケート結果で確認しました。地域性、地の利、公民館活動に活発な条件も大いに関係するかもしれません。 友人、仲間を求め、老化防止になり、楽しく過ごせて、健康づくりに役立ち、人生を豊かにでき、地域や社会との関係も深められる生涯学習の意義は素晴らしいと思います。 希望することは、 1. 交通の便利が良く、料金が安くて設備も整い、団体が使用可能な施設の充実 2. 参加していない人たちのきっかけづくりの必要性	シニア世代が、どんどん活躍できるような地域であれば、地域も持続していき、暮らしやすい地域になります。そのことは、生涯学習基本計画のめざすところでもあります。市民にとって利用しやすい施設、参加していない人たちのきっかけづくりも進めていきます。	修正なし

3	-	全体	<p>・施策の方向性として、国の動向を受け市の取り組みとして、コミュニティ・スクールの設置を軸にして、地域の学校教育への参画を進められており、それにより、“知識循環型生涯学習”の場をつくり、持続可能な地域づくりにつなげていくとありますが、アンケートから見る定年世代の学校教育への関心の薄さは、その弊害になるように感じます。昔のように地域ぐるみで、子どもを教育していくことが、持続可能な地域となり、子どもたちの将来のためになるということに気づいてもらう必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>計画内において、未来を担う地域の子どもの成長を地域住民で支えることが、“知識循環型生涯学習”による持続可能なまちづくりにつながるとしています。地域住民が一人でも多くコミュニティ・スクールなど子どもの成長を支える活動に参画できるよう推進していきます。</p>	修正なし
---	---	----	--	---	------